


一般質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。ホームページのインターネット録画中継でご覧いただけます。

<p>① 清野 和彦 (新政ちちぶ) p7</p> <p>1 財政の健全化 2 秩父地域の医療提供体制 3 ミューズパークプール</p>	<p>⑥ 宮川 浩司 (まほろば) p10</p> <p>1 森林経営管理制度 2 公共施設の総量縮減 3 行政評価</p>	<p>⑪ 坂本 勝幸 (まほろば) p12</p> <p>1 防災・災害対策 2 空き家問題・空き家対策</p>
<p>② 小松 穂波 (新政ちちぶ) p8</p> <p>1 聖地公園の現状と今後 2 地場産業センターの活用 3 移住相談センターの設置場所 4 先進自治体に学ぶまちづくり</p>	<p>⑦ 大久保 進 (公明党) p10</p> <p>1 子宮頸がんワクチン男性へ接種費用助成 2 子どもの熱中症対策 3 知事選の低投票率</p>	<p>⑫ 赤岩 秀文 (市民クラブ) p13</p> <p>1 ユニバーサルツーリズム 2 市の公園設備 3 会議、会合における市長の挨拶内容</p>
<p>③ 宮前 昌美 (市民クラブ) p8</p> <p>1 緊急通報システム事業実施要綱 2 不登校対策としての代替案の進捗状況 3 学校現場・教職員の負担軽減 4 中学生の通学カバン自由化</p>	<p>⑧ 金崎 昌之 p11</p> <p>1 平和学習の現状とあり方 2 子どもたちの食と健康 3 熊の「大量出没」対策</p>	<p>⑬ 高野 佳男 (まほろば) p13</p> <p>1 違法な埋め土・盛り土 2 脱炭素化に向けての取り組み 3 将来のまちづくりプラン</p>
<p>④ 高野 宏 (市民クラブ) p9</p> <p>1 ふるさと納税過年度の実績と今後の対応 2 町会運営、住民からの苦情他 3 教育行政、水泳授業・交通安全指導他 4 子宮頸がん予防ワクチン接種状況</p>	<p>⑨ 笠原 宏平 (まほろば) p11</p> <p>1 荒川支所管内の市道幹線道路の整備状況 2 倒木対策 3 林道の維持管理 4 有害鳥獣対策</p>	<p>⑭ 黒澤 秀之 p14</p> <p>1 ひとり暮らし高齢者の支援 2 地震による防災対策 3 家具転倒防止器具取付費助成金の創設 4 崩落したままの市道尾田蔭111号線復旧</p>
<p>⑤ 浅海 忠 (市民クラブ) p9</p> <p>1 少子化に伴う学校の再編成 2 有害鳥獣対策 3 荒川河川敷の有効活用と管理</p>	<p>⑩ 内田 均 (まほろば) p12</p> <p>1 荒川流域のキャンプ状況 2 水道事業の休日の対応 3 黒谷地区内田家住宅 4 通学路安全対策</p>	

これからの市立病院の構想



新政ちちぶ 清野 和彦

問 市立病院は、住民の命を支える基盤となる医療機関であり、市内にとどまらず秩父地域の広域圏においても重要な医療機関である。すでに建物や設備、医療機器の老朽化が進んでおり、将来、現況の施設のままに経営していくことは不可能である。秩父地域の限られた医療資源を最大限に活かし、地域に必要な医療提供体制を堅持するために、秩父広域で運営する新たな病院の設立が望ましいと考える。市長の考えは。

答 広域でやるのか、市単独でやるのか、秩父地域の1市4町がどこまで同じ歩調を合わせられるかが課題だと思う。新しい市立病院の建設に向けても前向きに取り組んでいきたい。

か、決断をする時期が来ていると思う。今後の考えは。

答 プールの指定管理者と協議を進めているが、通常のメンテナンスや修繕では来季の開園は難しいことが確認された。7年度にはミューズパークを会場に全国植樹祭が開催される。現在、都市公園を対象に進めている「公園施設の長寿命化計画」の調査結果を踏まえ、今後のあり方を検討していく。

● ミューズパークプール

問 開園以来30年以上が経過しており、不具合も多い。今後、長期間、施設を維持していくためには大規模な修繕が必要であるとされ、現在の指定管理期間も6年度までとなっている。現在の施設をどのようにするのか、これからのような構想を持って事業を進めるのか。



医療提供体制の維持のために可能な限り早急な検討を

- ◎ 財政の健全化
- ◎ 救急医療体制

先進自治体に学ぶ まちづくり

問 ふるさと納税制度を活用し、成功している先進自治体に学ぶまちづくりとして、ふるさと納税に特化した担当課などの設置は。

答 6年度の組織改正に関する検討の中で、協議していく。

問 Z世代など若い世代が活躍できるまちづくりについての考えは。

答 若い世代が活躍できるまちづくりについては、どのような目的を持って若者にまちづくりの参加を促すのかを整理し、若者に積極的にまちづくりに参加していただく方法について検討していく。

●聖地公園の現状と今後

問 財源確保の視点も踏まえ、現行とは異なる合葬墓の導入は。

答 寺社との調整、石材店への影響など、民間との競合が懸念されるが、まずは、秩父地域外の方を対象にした納骨堂ということも検討の余地はあると考える。

●地場産業センターの活用

問 今後の地場産業センター建築物活用の考えは。

答 中心市街地の賑わいを創出することをテーマとし、若手職員が



完成から38年が経過した地場産業センタービル

●移住相談センターの設置場所

問 センター移転の意向は。

答 現在、西武秩父駅や東町通り、番場通り周辺の空き物件の情報収集を行っており、移転先として適切な物件が見つかれば、移転を進める方向である。

新政ちちぶ

小松 ことまつ

穂波 ほなみ



不登校対策として 代替案の進捗状況

問 不登校になった子どもたちが特別なカリキュラムで学べる「学びの多様な学校」や、深谷市では不登校を未然に防ぐための「アップローチルーム」の設置など、近隣の自治体でも一歩踏み込んだ不登校対策がなされている。4年6月定例会の一般質問でも「校内フリースクール」について提案したが、市の対応は。

答 5年度から教育相談室の相談員が各校へ訪問し、学習支援や教育相談を行う「学校訪問支援」を行い、空き教室を利用した「校内フリースクール」として個別指導を実施している。3か月間、延べ48回の訪問で、62人の児童生徒の支援にあたり、学校からの要望も多いため今後も続けていきたい。

●学校現場・教職員の負担軽減

問 クレーム対応などにより、学校運営や授業の準備以外に多くの時間を取られてしまうなど、現場の疲弊が懸念される。在校時間も長く、文部科学省の諮問機関である「中央教育審議会」から、教員の負担軽減を図るための緊急提言

市民クラブ

宮前 みやまえ

昌美 まさみ



がなされたが、状況把握や対策は。
答 「小・中学校における働き方改革基本方針」を策定し、全教職員を対象にストレスチェックの実施後、希望者には医師による面接や、自己評価シートを元に管理職との面談、臨床心理士による講座の受講などの取り組みを行っている。児童生徒のみならず、教職員がスクールカウンセラーに気軽に相談できる体制を整え、知識・経験豊富な専門職員との連携により、フォロワーが必要とされる教職員を見逃すことのないよう、学校現場への配慮を更に進めていく。



下郷児童館内にある「教育相談室」・「ひまわり教室」

小中学校の水泳授業と施設の維持管理



市民クラブ 高野 宏
たかの ひろし

問 5年度の水泳授業の状況は。天候にも恵まれ、計画どおり、小中学校ともに、各学年8時間から10時間程度行われたが、施設の不具合による開始時期の先送りや、時期途中でプールの使用を中止した事案が発生した学校もあった。また、猛暑による高気温で授業を中止したケースもあった。

答 施設の管理費用は、水道料金、プール用薬剤、ろ過装置の保守点検等、1施設あたり例年30万円程度である。各学校でプールに注水する時期には、バルブや止水弁の取り扱いに注意し、必要以上に水の流失がないよう注意喚起をしている。しかし、施設の老朽化も明らかに進んでいる状況で、プール施設は、市内小中学校21校のうち17校が所有しているが、建築からすでに50年を経過したものが6施設あり、給排水管の改修や、ろ過装置の交換等、大規模の改修には、数百万円規模の費用が想定され、さらに施設全体の改築には、1億5千万円から2億円程の費用が見込まれる。現状では、突発的不具

合の際は、応急修繕を行うのが実情であり、今後も同様の対応が現実的である。

問 民間委託についての考えと水泳授業の在り方、必要性は。

答 市では、小学校1校で民間委託を実施しているが、専門家の指導による子どもたちの泳力向上は言うまでもなく、教職員の負担軽減など働き方改革にも大きく寄与しており、他校にも広げていくことが望ましいと考えている。今後、他校での民間委託についても、総合的に判断していく。

が必要なる老朽施設はあるか。



楽しいプール授業

有害鳥獣対策



市民クラブ 浅海 忠
あさうま ただし

問 有害鳥獣が農作物を荒らしている。有害鳥獣の被害状況は。

答 4年度は、イノシシが被害面積1・1ヘクタール、被害額198万円（2年度比1・2倍）、ニホンジカが被害面積6・3ヘクタール、被害額566万円（同2・5倍）、ニホンザル1・8ヘクタール、被害額657万円（同2・4倍）と、増加している。

問 防護柵等の対応設備に対しての補助の拡充は。

答 5年度は、これまでの実績を踏まえ前年度比50%増の予算を計上したが、8月末で使い切った。鳥獣被害が拡大していること、物価高騰が予算不足を招いた一因でもある。まだ希望者も多いため、12月定例会に補正予算を計上して対応したい。

●荒川河川敷の有効活用と管理

問 荒川総合運動公園に隣接している河川敷に川遊びの人が多く訪れている。トイレや水道、駐車場の無断利用や夜間の花火等で近隣者が迷惑している。施設の環境整備費等として有料化はいかがか。

答 5年度、一部の利用者による駐車場への無断駐車、グラウンドへの無断侵入および使用、トイレ以外の場所で排泄する等の問題が発生し、対応や片付けに苦慮している。秩父警察署に対応を依頼したケースもあった。わかりやすい看板の設置、警察の巡回依頼、パトロールを強化したい。河川付近の施設利用等に対し、協力金や駐車料金等を課しているところもあるが、運動公園の駐車場はグラウンド等を利用する方のためのものであり、目的外で使用する方からの協力金徴収は考えていない。



荒川総合運動公園に隣接する河川敷と運動公園駐車場

行政評価システム 進化への期待

問 行政評価システムを導入後、約15年が経過したが、その後の改良点や今後の課題は。

答 平成20年度に行政評価の導入後、「基本事業」を細分化し、翌年の予算査定に利用しやすい形にした。平成25年度には、「施策評価」を導入し、元年度からは「予算資料シート」を取り入れるなど、幾度かの改善を行い、現在の方式として運用している。しかし、シートを作成する職員により記入精度にばらつきがあることや、施策改善へとつなげる展開の弱さは、課題として今後工夫をしたい。

問 信用度を高めるために、外部評価者の導入はどうか。

答 外部評価については、制度の信頼性を高める効果があると考え、今後は検討したい。

● 公共施設の総量削減

問 余剰施設の洗い出しはどの程度進んでいるか。

答 既に施設全体の洗い出しは行っている。計画期間内に、その都度、適切な見直しを行っていくことで、「延べ床面積35%削減」の数値目標の達成に向けて取り組み

む。

● 森林経営管理制度

問 経営管理を行うにあたり、森林所有者への意向調査の進捗は。

答 森林経営管理制度については、秩父地域森林林業活性化協議会と連携しながら取り組み、意向調査は、約1950ヘクタールで実施した。

問 今後の取り組みは。

答 森林の集約化による整備の効率化を図り、木材利用を推進していく。



まほろば 宮川 浩司
みやがわ ひろし

行政評価シート
(市ホームページより)

男性へのHPVワクチン 接種費用助成

問 熊谷市が男性へのHPVワクチン費用助成を10月から開始するが、いち早く取り組み始めれば注目度も高く子育て世帯への目玉施策となりうると思うが、市の見解は。

答 男性への接種については、2年2月に薬事承認されたが、定期予防接種の対象は女性のみとなっているため、男性が接種する場合には任意予防接種の扱いとなり、接種費用は全額自己負担になる。市内の医療機関への調査では、男性への接種実績4件、問い合わせは5件あった。国も検討を始めている情報もあることから、国の動向も確認しつつ助成の開始について慎重に検討していく。

● 子どもたちの熱中症対策

問 ランドセルに装着するパッドを取り入れてはどうか。

答 保冷剤入りのランドセルパッドの活用には、1人1個の配布だけでなく、各学校へ冷凍庫の配備が必要になる。予算の関係もあり導入は難しい。一方で、保冷剤を入れないタイプもあり、汗取りパッドとして、通気性や吸水性に優れた素材できており、ランドセルと背中の間の蒸れを解消するものだが、これによる効果や使用感を十分に検討していく必要がある。教育委員会としては、現在の熱中症対策をより徹底し、予算状況を踏まえ検討していく。



公明党 大久保 進
おおくぼ すずむ

● 知事選の低投票率

問 過去最低の投票率であったが選挙管理委員会の受け止めは。

答 投票率の低下を重く受け止め有権者の一人一人が選挙に関心をもち、一票の権利を行使するように継続して啓発や周知に努めていく。



ランドセルパッド

平和学習の現状とあり方



かなさき
金崎 昌之
まさゆき

問 タレントのタモリさんが放った「新しい戦前」という言葉が話題になった。戦後78年経って、戦争を語る方が年々少なくなっている。平和が脅かされている今日、児童生徒たちと学ぶ平和学習がますます重要になっていると考えるが。

答 平和に関する学習はより重要になっている。埼玉ピースミュージアム(旧埼玉平和資料館・東松山市)などの利用を促し、知徳体のバランスのとれた児童生徒を育成していきたい。

子どもたちの食と健康

問 コロナ禍による生活環境の変化で、子どもたちの健康や学力が心配されるが。

答 5年度学力・学習状況調査の結果から、朝食をとらない子は朝食をとる子に比べて、学力が低くなる割合が1・5倍ほど高い結果となった。「早寝、早起き、朝ごはん」が定着するように呼びかけていきたい。

熊の「大量出没」対策

問 猛暑が続く8月末、「秩父で



羊山公園脇に立てられた『熊出没注意』の看板

クマ目撃増加、市街地でも。市内全小中学生に鈴と笛配布」との新聞記事が掲載された。人里で熊の目撃数が増加している原因は。

答 山の高い位置に食糧が無いためだと考える。

問 熊の出没には、どのような対策が有効だと考えるか。

答 野外活動をする人たちに、残飯を放置しないことや、生ごみを持ち帰る等のマナー徹底を呼びかけたり、家の軒下のハチの巣の撤去などが有効だとされている。

大きくなり過ぎた樹木の倒木対策



かさほら
笠原 宏平
こうへい

問 公共用地を含め、私有地において大木となってしまった樹木の点検や管理は。

答 背の高い木が多い公園については、羊山公園管理事務所の職員が清掃や除草作業などの日常業務をする際に確認し、危険と判断した場合、随時、剪定、伐採を行っている。民地内の高木の管理や道路に面した植栽が危険と判断した場合は、所有者に伝え協力をお願いしている。

林道の維持管理状況

問 林道の排水溝が土砂等で埋まり、雨水が道路を壊している状況だが対策は。

答 市の森林管理道は、68路線、延べ延長は約123.3kmある。林道の排水溝への土砂等の堆積は林道崩壊の原因の一つと考えている。側溝の土砂清掃など排出工事は、森林環境譲与税を活用し、2年度から行っている。林道は森林の適正管理や山村地域の生活道路や災害時の迂回路となるなど地域住民の生活に重要な役割を果たしており、今後も引き続き森林管理道の維持管理を実施する。



土砂で埋まった側溝

荒川支所管内の幹線道路整備状況は。

問 荒川幹線2号線は、5年度は錦沢から西側区間約550mを拡幅工事の詳細設計を実施。荒川幹線3号線は、国道140号荒川中学校入口信号機付近から秩父鉄道踏切までの63mを、5年度に用地買収、物件補償を進め、契約が整い次第、工事を進めていく。荒川幹線4号線は、三峰口駅に隣接の公衆トイレを解体し新築工事を行った後、拡幅工事を行う予定。

荒川流域のキャンプの状況



まほろば **内田** 均
うちだ ひとし

問 影森グラウンド下の河川敷など荒川流域でのキャンプの状況の認識と、今後の対応は。

答 モラルに反する使用をしている方がいるのは認識している。県土整備事務所と連携し、ロープやチェーン等が張れないか協議したが、河川に立ち入ること自体は制限できず、釣り人や住民の理解や協力を得ることが必要になる。今後、関係機関とも調整を図りながら対策について検討する。

問 緊急ヘリポートへの侵入対策は。

答 緊急ヘリポートのマークが消えているので書き直しを実施する。

問 水道事業の休日対応の対応は。

答 広域市町村圏組合に確認したところ、水道管の漏水対応は地区ごとに異なるとのこと。「配水管」から各家庭に水を送る「給水管」の漏水については、個人の財産であり、修繕は個人が原則行う。

市指定有形文化財

黒谷地区の内田家住宅について



黒谷地内の市指定有形文化財「内田家住宅」

て、保護・保存についての考えは。
答 江戸時代に建てられた、市にとって大切な文化財だが、現状、屋根等傷みが進み、根本的な補修が必要になっている。教育委員会では、3年度に文化財地域保存計画を策定し、文化庁の認定を受けた。その中で、内田家住宅は、黒谷地区の古代および近世の銅採掘に関する文化財を集約した関連文化財群の拠点であり、補助金等を利用して、保存修理や活用含めて、検討していきたいと考えている。

災害・防災対策



まほろば **坂本** 勝幸
さかもと かつゆき

問 市内各所の災害発生時の一時集合場所が土砂災害警戒区域内にある地区があるが、今後の対応は。

答 市では、災害発生時に自主避難場所が、本庁舎、各総合支所の4か所、指定一般避難所55か所、指定福祉避難所が14か所、指定緊急避難所48か所および2か所の広域避難場所としている。一時集合場所は、町会が選定・指定しており、相談いただければ一時集合場所の見直しについて、支援していく。

問 災害時の自主避難所の開設についての対応は。

答 市では、4か所の自主避難所を指定している。各町会が公会堂などを利用して自主避難所を開設する場合については、避難所の運営は自主防災組織など、地域の皆さんにお願いするが、その後の支援を行う必要があるため、開設した場合には速やかに市に連絡をしていただきたい。

問 防災倉庫の活用については。

答 各地に配置されている防災倉庫は災害時に備えて所管する総務部危機管理課で管理している。防災倉庫内の備蓄品についても、定

期的に自身の点検、補充、交換をしている。

空き家問題・空き家対策

空き家対策の今後の対応は。

答 「秩父市空き家対策計画」は、平成30年度から4年度までの5年間を計画期間としている。5年度中に、「秩父市空き家対策協議会」で審議し、改定を目指す。



災害時に備えての防災倉庫

市の公園設備

問 休園が続いているミューズパークプールについて、ここ数年の経過と今後の方向性は。

答 ミューズパークプールは開設以来30年が経過している。2年度、3年度は新型コロナウイルスのまん延により営業を中止、4年度、5年度は施設の不具合により営業を中止した。施設の不具合の多くは、給排水や、ろ過機へつながる配管からの漏水が原因とみられ、大部分が地中に埋設されていることから完全な修繕が不可能で、通常のメンテナンスや修繕では来季の開園は困難な状況と確認された。5年度に「公園施設の長寿命化計画」の策定を進めているが、相当額の改修費用が見込まれる。今後は計画策定の結果を踏まえプール施設も含め、ミューズパークスポーツの森の今後の在り方を検討する。

問 キッズパークは、別所地区にあった流水プールの跡地に市が整備し税金で運営されている。無料の公園で、秩父地域の内外から多くの来園者を迎えているが、祝日ともなると、秩父地域外からの来園者で駐車場がいっぱいになり、



人気の公園施設キッズパーク

地元の子どもたちが入園できない事があり不満の声が聞こえてくる。秩父地域と地域外の差別化を図るため、地域外の来園者に利用料金を設定することはできないか。

答 施設の利用料金制については以前検討したが、料金の徴収方法、経費とのバランス、条例の制定や、施設規模に見合った金額の設定が難しいなどの理由から、結果的に、子育て支援施設であること、地域の活性化に寄与する施設であることから利用料金は無料としている。



市民クラブ 赤岩 秀文
あかいわ ひでふみ

ゼロカーボンの魅力的で 歩きやすいまちを作ろう

問 市は2050年度までに市内の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」をしているが、現状は。

答 4年度に「秩父市地域脱炭素ビジョン」を策定し、太陽光発電を中心とする地域の再エネポテンシャルを最大活用するとともに、豊かな森林による二酸化炭素の吸収量と合わせ、2050年度には「カーボンマイナス」を実現するべく、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金等への申請の準備も含め、鋭意努めている。また、その一環として秩父新電力を設立し、再エネの地産地消を促進することにより、地域経済の改善にも貢献したい。

● 将来のまちづくりプラン

問 2020年の都市再生特別措置の改正に伴い、市の都市計画マスタープランの改訂や立地適正化計画の策定がなされたが、国の方針では「コンパクトネットワーク」の核となる「まちなか」の活性化に重点が置かれている。市の今後の取り組みは。

答 上位計画である「秩父市総合



まほろば 高野 佳男
たかの よしお

振興計画」等との整合を図りつつ、人口減少や高齢化の傾向、災害への対処などを考慮しながら、市の全域を対象に都市のコンパクト化を目指している。中心部では人口密度の水準を保ち、緑化による脱炭素化の推進も念頭に、観光客と住民の双方に魅力的で歩きやすいまちづくりを進めたい。



2050年カーボンニュートラル実現へ（「秩父市地域脱炭素ビジョン」より）

ひとり暮らし高齢者増加 もしもの時の対応は

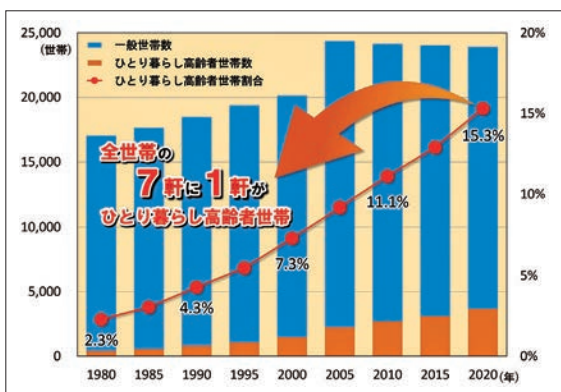


黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき

問 今年の夏は、観測史上もつとも暑い夏となった。熱中症による救急搬送者数は急増し、65歳以上の高齢者が全体の6割近くにのぼる。国勢調査の統計データによると、市におけるひとり暮らしの高齢者世帯数は、全世帯に対し7軒に1軒の割合となっており、この20年間で2倍以上になっている。ひとり暮らしの高齢者にとって、同居する家族がいけないことは、いざという時の対応が極めて困難である。市における施策は。

答 万が一の時の対応として、緊急通報システム事業を行っている。高齢者等の住居に設置した携帯用無線発信機から、緊急通報用電話機を通じて発信した通報を、秩父消防本部に設置した装置で直接受信するシステムで、高齢者等が急病・事故その他の理由により、緊急に救助を必要とする場合において、119番を押すことなく、ワンプッシュでシステムを通じ、通報することができるシステムである。速やかに状況確認や救助活動を行うことが可能であり、4年度は373人の方が利用している。また災害発生時においては、自力

での避難が困難な方を対象に、地域の支援者（市災害対策本部、民生・児童委員、社会福祉協議会、警察署、消防署、消防団、町会）が、安否確認や避難の支援などを行なうための避難行動要支援者支援制度を運用している。あらかじめ名簿に登録しておくことにより、災害発生時において迅速・的確な救助活動や避難支援ができるようになる制度であり、4年度は779人の方が登録している。



ひとり暮らし高齢者世帯の推移

◎救急医療情報キット配布事業

市議会を 傍聴してみませんか？

傍聴される際に、特別な手続きや事前の予約は必要ありません。傍聴を希望する日に、市役所本庁舎4階の「傍聴受付」にお越しいただき、受付票に必要事項をご記入ください。
市政を知る機会として、ぜひ、お気軽にお越しください。



12月定例会の予定

日 程	議 事
11月21日(火)	開会、議案説明
27日(月)	議案に対する質疑
28日(火)	文教福祉委員会
29日(水)	総務委員会
30日(木)	まちづくり委員会
12月6日(水)	一般質問
7日(木)	
8日(金)	
13日(水)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。
※議場は、本庁舎の4階です。
※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

編集後記

暑かった日々もすっかり秋の気配に。日頃より市政に関心をお寄せいただき、感謝申し上げます。
市議会議員の仕事のひとつとして、市の現状や問題点、それぞれの活動の様子を広く伝えていくことが重要と考えています。身近な問題に丁寧に寄り添い、一人一人の声を行政に伝え、いただいた回答で、これからの展開や考え方を、議員としてきちんと答えられることが、皆さまの安心に繋がると思っております。

9月定例会では4年度の決算審査が行われ、予算がどのように使われ、どんな成果が得られたのか、本会議や委員会でも活発な議論がなされました。ぜひ皆さまにも、傍聴にお越しいただき、議会を身近に感じていただければ幸いです。
令和5年10月 宮前 昌美 記

編集委員

委員長 本橋 高野 佳
副委員長 出浦 章
委員 高野 佳

本橋 高野 佳
出浦 章
高野 佳
宮前 昌美
清野 幸
坂本 秀之
黒澤 幸
高野 幸
浅海 忠